



皆さんこんにちは、院長の大橋です。5月に入り、夏の陽射しも感じられる様になりました。日射しの下、子供たちは成長の季節を迎えます。たくさん外へ出て、たくさん遊ばせて下さい。

さて、今年2月の大寒波到来前日、お産が有りました。新しい家族の誕生の場に立ち合える事はとても幸せです。家族を代表してパパから手記が届きましたのでご紹介します。

予想外の妻の妊娠が分かったのは、結婚して間もなくでした。予定していた結婚式は、熊本震災で延期になった矢先、新婚旅行の予定も中止せざるを得なくなり、何事も予定通りにはいかないものです。しかし、この予想外の妊娠は初めてのことであり、出産までの10か月はとても待ち遠しい日々を過ごすことになりました。とはいえ、男の私にとってその事実は実感できないものです。毎日、胎動を感じることができる女性とは違い、“偶然”でしか胎動を感じることはできません。ましては、おなかの皮一枚を通して掌でしか感じる事ができないので、『ホントにいるのかな』というくらいの実感です。妻の出産への希望について、私がとやかく言うことではないので、できる限り叶えてあげようと日々考えていました。唯一、出産予定が2月ということで、大雪で峠を超えられるか心配でしたが、それ以外の心配は大橋先生にお任せしようと…。もう一つ予定外だったこと。それは、出産に立ち会いをしなければならないということでした。本音から言うと、これだけは素直に受け入れることができませんでしたが、立ち会っても何も出来ないんだからと割り切るしかありません。

その日は突然来ました。夜も明けない朝方に、珍しくごそごそしている妻からの訴えでした。不謹慎にも陣痛で苦しむ妻を横目に『待ってました！ようやくわが子に会える！』と、妻の心配よりも心の中で大喜びです。それからというもの時間が過ぎるのが早く感じたのですが、さすがに14時間はとても長いものでした。長時間、陣痛に苦しむ妻、大橋先生をはじめとする多くのスタッフの皆さんのおかげで、わが子と対面できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。一方、出産において何もできなかった私といえば、一緒に力み過ぎたせいか、少々酸欠状態で朦朧としており、なおかつ、子どもより先に泣いてしまったこともあり、誕生の瞬間をあまり覚えておらず恥ずかしいばかりです。

最後に、子どもの誕生はとても感動的です。その理由を説明しようにも、理屈でどう説明できるものではありません。生まれてきてくれてありがとうという気持ちよりも、生命の誕生に対する神秘的で深いもののような気がします。何を思ってこの子はこの世に生まれてきたのか、その答えは誰にも分かりませんが、私たちを親に選んで生まれてきてくれたことに感謝し、一人の人間としてこの子がこの子らしく育ってくれるよう願っています。



平成29年4月27日

坂本 武範



## お知らせ

- ☆ 今月より、毎月第2火曜日に行っておりますさんSUN子育て教室【ランチ付き】の時間を変更いたします。11時45分から13時30分までとなりますので、お間違えのないようお願いいたします。
- ☆ さんSUN通信を作成するうえで、みなさんの声を聞かせていただきたいと考え、助産院に『みなさんの声BOX』を設置させていただきました。子育てに関する疑問やお悩み等、気軽に書いていただけると嬉しいです。ご協力お願いいたします。

長井さんの後を引き継いで、今回よりさんSUN通信作成のお手伝いをさせていただくことになりました吉原です。年中の男の子、年少と1歳の女の子の育児中です。慌ただしい毎日ですが、自分の体と心の健康も大切にしたいと思い、助産院に通わせていただいています。大橋先生の整体とお話、また、スタッフの方々のお話に癒されています。(o^—^o) いろいろな講座にも、ちょこちょこ顔を出させていただいていますので、お会いした際にはよろしく願います。みなさんの心が、ほっこりなるような通信作りを目指していきたいと思っています。

